

風やゴムで動くおもちゃをつくってみよう

① ペットボトルかざぐるま



お茶のペットボトル（500ml）の容器（ようき）をりょうしてかざぐるまをつくります。
ペットボトルの胴（どう）の部分を切りひらくとはねになります。
キャップと、ペットボトルの底にあなを開け、針金（はりがね）を通します。
これでほぼできあがり。
あとは、ペットボトルがうまくまわるように、はねをおりまげたり、
はりがねのかたちを曲げたりして工夫してください。
ペットボトルを切るときは、あぶないので、おうちのかたか、先生といっしょに作ってね。

② トレーのかざぐるま



お肉や魚の入れ物になるトレーを使ってかざぐるまをつくります。
写真のように、ななめに切ればできあがり。
はりがねをとおすところは、弱いのでテープなどをはって、がんじょうにしてね。

③ トコトコぐるま



番組では、カップラーメンの容器（ようき）を使いました。
タイヤになるねんどを、輪ゴムにつけると、ゴムにからまず、
ゆるくなってしまうことがあります。
そこで、この部分には、輪ゴムとクリップをくみあわせて使うと、
ねんどがゆるくならずにまわることができます。
ねんどの形をいろいろかえると、おもしろい動きになりますよ。